厚労省が定める喫煙対策のための技術的要件をクリア！

SMOKE POINT

特長1 煙や臭いを除去
3つのフィルターで煙や臭いを95%以上除去し、クリーンな空気に換えて排出します。

特長2 ダクト工事不要
組み立てるだけで設置できるので、ダクト工事が不要。また移設も可能です。

特長3 カスタマイズ可能
ご利用状況や設置スペースに合わせたカスタマイズが可能です。

360度空気清浄機
Air Tornado 1000
エアトルネード

広い空間を一台でまるごときれい。
φ650mm×H910mm（キャスター含む）

● 時間あたり最大950㎥の広いスペースに1台で対応可能
● デンマーク製のスタイリッシュなデザイン
● 感染症対策やニオイ対策に適した強力なフィルター

株式会社Fujitaka　お問い合わせ窓口　0120-533771　受付時間／平日9:00～18:00
本社／〒600-8216 京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7階／営業・サービス全国ネットワーク／www.fujitaka.com

旅館・ホテルの「設備」特集

今回の旅館・ホテル向け新商品特集のテーマは「設備」。全国旅行支援の開始や訪日外国人旅行者の規制緩和などで旅行需要の高まりが期待されている。設備面でもさらに充実を図ろう。

喫煙ブースなど

Fujitaka

周囲の環境に合ったデザイン

Fujitaka（フジタカコーポレーション）は、社会の分煙化が進む中、充実した機能だけではなく、周囲の環境に合ったデザインを兼ね備えた最新の喫煙ブース「SMOKE POINT（スモークポイント）」を提案している。

スモークポイントは、デンマーク生まれのスタイリッシュなデザインが特徴。周囲を開放感ある透明ガラスで囲み、美しいインテリア空間を生み出す。

国の脱煙機能付き喫煙ブースの基準である「TVOC（総揮発性有機化合物）の除去率95%以上」「非喫煙場所から喫煙場所への気流が毎秒0・2㍍以上」「排気粉じん量が1立方㍍当たり0・015㍉㌘以下」の基準をクリアしている。

大容量の吸い殻入れ設置や静音・省エネ設計など性能も高く、移設も簡単。清掃・メンテナンス制度も用意した。

ラインアップは、「セミオープン」と「自動ドア」、小型の「キューブ」など。大人数利用が可能なカスタマイズにも対応する。

併せて同社では、ウイルス対策製品の充実を図っている。その一環として最近、業務用の空気清浄機「Air Tornado（エアトルネード）1000」を発売した。

新製品もデンマーク製で、低騒音タイプながら、360度の全方位から吸引する強力なエアファンを装備した。「密閉空間の換気に最適」として宿泊施設のフロント、レストランなどに導入を呼び掛けている。

PM2・5や花粉、アレルゲン物質など99・995%を除去する高性能HEPAフィルターを搭載。本体にはキャスターが付いているので、簡単に移動できる。

デザイン性も特徴で、カラーは木目調のブラウンのみ。本体サイズは、直径650×高さ850㍉。

スモークポイント

ハンドドライヤーなど

TOTO

快適に使える吸引・高速両面型

TOTOは来年1月、ハンドドライヤー「クリーンドライ」に初の「HEPAフィルター」を搭載し、吸引・高速両面タイプを発売する。新商品は風、水滴を吸い込む吸引式を採用。風の吹き返しや、水滴飛散を抑え、より安心、快適に使えるように配慮した。飛沫などの微細な粒子を捕集するHEPAフィルターは吸引した風を浄化し、より清潔な風で手を乾かすことができる。

不特定多数の人が使用するパブリックトイレ空間だからこそ、子どもから高齢者、体の不自由な人などすべての人々が使いやすいアプローチや、デザイン面にもこだわり設計。また、設備管理がしやすい清掃性など、機能も充実させた。「ペーパータオルと比較して経費の大幅な削減が可能で、環境貢献にもつながる」とアピールする。

同社では併せて、パブリック洗面空間関連商品の「ハイバックカウンター」（奥行き400㍉）をこの8月に発売しており、小規模施設などでも、快適な洗面空間を実現できる、と提案する。奥行き幅の狭い洗面空間も、洗面ボウル横にハンドドライヤーの設置が可能で、手洗いから乾燥までの動作がスムーズに行える。ほかにも、中規模、大規模施設に対応する「ツインデッキカウンター」も用意している。

同社では非接触（タッチレス）の水栓金具シリーズ「アクアオート」に新たにデザイン性の高い商品を増やし、高級旅館、ホテルなどに向けて品ぞろえを強化している。設置条件と洗面空間のデザインニーズに合わせて選択できる。

同社では、この商品を含む、「きれいと快適」「環境」を両立するTOTOらしい商品を「サスティナブルプロダクツ」と位置付け、「これらの商品を普及させることで、地球環境に配慮した、豊かで快適な社会の実現に貢献する」としている。

狭小空間に最適なハイバックカウンターとクリーンドライの組み合わせ

EV充電サービス

ENECHANGE

駐車場さえあれば利用可能

ENECHANGE（エネチェンジ、東京都中央区）は、旅館・ホテルに、電気自動車のEV充電サービス「EV充電エネチェンジ」の活用を呼び掛けている。このサービスは、駐車場さえあれば利用可能で、「充電設備の設置工事や補助金の申請などをパッケージ化。費用や手間を最小限に抑制する」と同社。宿泊施設をはじめ、ゴルフ場や商業施設での採用が進んでいる。

日本でのEV、PHVの新車販売台数は、今年9月に1万3千台超えと過去最高を記録し、需要の高まりが顕在化。それに伴い同社では、2027年までに最大300億円を投じ、国内3万基の設置を目標に掲げる。

6月末からは、補助金制度に同社独自の導入支援金を上乗せし、実質無料で導入できる施策「ゼロプラン」を打ち出したことで、「問い合わせ件数が急増。4カ月で全国47都道府県すべてのエリアへの設置の受注を達成」という。必要費用は、月々の電気代だけと経済的で、多くの施設が関心を寄せている。

充電器の利用において、事前の会員登録と月額費用は不要。充電器本体にあるQRコードをスマートフォンで読み取り、利用者情報などを登録。アプリに表示される手順に従って充電器のコネクタを接続するだけで、作業が完結。利用した費用だけ都度支払うものだ。

EV充電器のラインアップは、従来の「チャージ1」に加えて、補助金対象となる「チャージ2」を用意。両モデルともに、これまで目的地充電用途で設置されたタイプの倍速の出力で、効率的に充電可能。「用途に合わせて、導入プランを検討してもらえれば」と話す。

専用アプリとの組み合わせで、EV充電スポットの検索、充電、決済までワンステップで終結する。

EV充電エネチェンジ（イメージ）